

2005年度 事業報告

【目次】

1. 京都グリーン購入ネットワーク第2回通常総会	1
2. 幹事会の開催	1
3. 各部会の事業報告	3
3-1) 普及啓発部会	3
3-2) 環境ラベル研究部会	7
3-3) 広報コミュニケーション部会	10
3-4) 全体で取り組んだ事業	11
4. 会員の推移	13

1. 京都グリーン購入ネットワーク第2回通常総会

日 時：6月16日（木） 午後14：00から16：30

場 所：ハートピア京都（京都府立総合社会福祉会館）大会議室3階

参加者：36名

内 容：

◇議事

1) 2004年度事業報告および収支報告

2005年度事業計画、予算計画について

2) 役員の変更について

3) 記念講演 「グリーン購入と市場の再設計 ―グリーン購入がほんものものづくりを育む―」

京都グリーン購入ネットワーク代表幹事/京都大学大学院経済学研究科、地球環境学堂 教授 植田和弘

2. 幹事会の開催

■第4回幹事会

日時：2005年6月1日（水） 15:00～17:00 場所：京都府庁西別館4階 大会議室

内容：1) 各部会、設立記念イベント、ホームページの更新状況を報告

2) 2004年度事業報告/収支計算書の検討

3) 2005年度事業計画/収支予算書の審議/承認

■第5回幹事会

日時：2005年9月27日 10:00～12:00 場所：府庁旧館 2階 2-M会議室

内容：各部会、自治体対象グリーン購入セミナーの報告、京都府環境フェスティバルでのグリーン購入ゾーン企画内容、会員対象のアンケート活用方法などの検討

■第6回幹事会

日時：2005年11月21日 10:00～12:00 場所：府庁旧館 1階 企画環境部会議室
内容：部会報告、京都府環境フェスティバル グリーン購入ゾーン最終確認、今後の流れの確認

■第7回幹事会

日時：2006年1月19日 15:00～17:00 場所：府庁旧館 1階 企画環境部会議室
内容：部会報告、グリーン購入仕様書作成支援ソフト作成事業、環境フェスティバル2005報告、環境ラベル学習会開催、事業者対象グリーン購入セミナーのお知らせ

■第8回幹事会

日時：2006年3月28日（火） 15:00～17:00 場所：コクヨ近畿販売株式会社 京都オフィス
内容：グリーン購入発注書作成支援ソフト、事業者対象グリーン購入セミナー、紙のグリーン購入学習会、ホテル旅館のグリーン購入学習会、グリーン商品サンプルセット、会員グリーン商品/環境への取り組みカタログセット、会員紹介サイト

広報コミュニケーション、普及啓発合同部会

【第1回】広報コミュニケーションのビジョン、目標の検討

日時:2005年5月18日（木） 場所：京都府庁1階 企画環境部会議室

【第2回】京都府環境フェスティバル、会報誌の内容、自治体対象グリーン購入セミナー実施運営の検討

日時:2005年9月12日（月） 場所：京都市寺町第一会議室

【第3回】京都府環境フェスティバル2005の内容を検討

日時:2005年10月24日(月) 場所:京都府庁2階-N

【第4回】京都府環境フェスティバル2005の内容確認と役割分担

日時:2005年11月11日(月) 場所:京都府庁旧館1階1-A会議室

【第5回】事業者向けセミナー企画検討、グリーン購入仕様書作成支援ソフトの発表方法について

日時:2005年12月22日(木) 場所：NPO法人環境市民 事務局

【第6回】会員サイト作成、グリーン商品サンプルセットの作成について

日時：2006年3月1日（水） 場所：京都府庁旧館1階企画環境部会議室

【第7回】来年度事業（環境フェスティバル2006、会員企業見学会、会員紹介サイト作成）、来年度

の活動テーマ、京都GPNニュースレターの検討

日時:2006年3月9日（木） 場所:NPO法人環境市民 事務局

【第8回】京都GPNニュース Vol.6の企画内容、会員紹介サイト作成会社の検討

日時：2006年3月29日（火） 場所：コクヨ近畿販売株式会社 京都オフィス

広報コミュニケーション・環境ラベル研究部会

日時：2005年7月14日（木） 場所：京都府庁旧館2-1会議室

内容：京都府内の企業、自治体へのグリーン購入に関するアンケート調査実施について

広報コミュニケーション部会

【第1回】今後の広報活動内容の検討、ターゲットを絞ったセミナーの開催などを検討

日時：2005年4月12日（火） 場所：朝日ビル会議室

【第2回】京都GPN-news vol.2の打ち合わせ

日時：2005年7月14日（木） 場所：京都府庁旧館2-1会議室

【第3回】企業対象グリーン購入セミナー、環境フェスタ2005企画の検討

日時：2005年9月12日（月） 場所：京都市寺町第一会議室

【第4回】会報誌の発行スケジュール vol.3、vol.4の企画内容検討

日時：2005年11月11日（金） 場所：京都府庁旧館1階 1-A会議室

普及啓発部会

- 【第1回】自治体対象グリーン購入セミナー、京都府環境フェスティバル 2005 の企画検討
日時：2005年7月15日（金） 場所：京都府庁旧館2-C会議室

環境ラベル研究部会

- 【第1回】2005年度事業内容の検討、京都の（会員）事業者の環境への取組み、
グリーン購入商品等のデータ収集
日時：2005年4月20日（水） 場所：京都府庁旧館2-I会議室
- 【第2回】2005年度事業内容の検討、府内の商品、企業情報収集、京都ならではのグリーン商品、
サービスの基準づくりプロセスの検討
日時：2005年5月24日（火） 場所：京都府庁旧館1-A会議室
- 【第3回】環境ラベル創設にむけた今後のプロセスを検討
日時：2005年10月7日（月） 場所：NPO 法人環境市民事務局
- 【第4回】環境ラベルの対象分野を検討
日時：2005年11月21日（月） 場所：京都府庁別館
- 【第5回】京都のグリーン購入基準を策定する対象分野のグリーン購入ガイドラインの内容を検討
日時：2005年12月19日（月） 場所：NPO 法人環境市民事務局
- 【第6回】2005年度に行った学習会をふまえて、来年度の計画を検討
日時：2006年3月13日（月） 場所：NPO 法人環境市民事務局

3. 各部会の事業報告

3-1) 普及啓発部会

①自治体対象グリーン購入セミナーの実施

趣旨：京都グリーン購入ネットワークの自治体加入者数は10弱で、京都府下のグリーン購入をすすめていくためには、さらなる加入をよびかけていく必要がある。そこで今回は、自治体の担当者にグリーン購入とは何かを知ってもらうため、グリーン購入の基礎を説明、すでに取り組んでいる自治体の事例、グリーン購入を進める際のポイント、具体的な商品選びのポイント、今後進めていこうとしているウッドマイレージ（京都府産木材認証制度）について紹介した。

実施にあたっては、地域バランスを考慮し、下記の3カ所で行った。参加者は少なかったものの、グリーン購入について多くの自治体担当者に知ってもらう機会を提供することができた。ただ、このセミナーによる自治体の入会はなかった。

■実施日時

【第1回】

日時：8月26日（金） 13:30-15:30
場所：福知山市環境パーク リサイクルプラザ研修室
参加者数：9名

【第2回】

日時：9月2日（金） 14:00-15:55
場所：八木町農村環境公園「氷室の郷」会議室
参加者数：5名

【第3回】

日時：9月7日（金） 14:00-15:55
場所：文化パルク城陽 第3会議室
参加者数：24名

■プログラム内容

- 1) 「グリーン購入と京都グリーン購入ネットワークについて」
（第1、2、3回） 堀 孝弘（京都グリーン購入ネットワーク事務局長）
- 2) 事例発表
（第1回）「福知山市環境に配慮した物品調達推進方針に基づく グリーン調達について」
達脇 優氏（福知山市 会計課 課長補佐兼管理係長）/塩見 香織氏（物品管理係）
（第2回） 「亀岡市におけるグリーン調達の取り組みについて」
門 哲弘 氏（亀岡市 環境政策課 環境政策担当 主任主幹）
（第3回） 「宇治市グリーン調達指針に基づくグリーン調達について」
大園 智氏（宇治市環境政策室環境企画課 主事）
- 3) 「グリーン購入～具体的な進め方～」
（第1回）津村昭夫氏
（京のアジェンダ 21 フォーラム KES 認証事業部 事業部長/京都グリーン購入ネットワーク 幹事）
（第2回）荒川 佳夫氏
（京のアジェンダ 21 フォーラム KES 認証事業部 副事業部長/京都グリーン購入ネットワーク 幹事）
（第3回）浅野 彰氏（京のアジェンダ 21 フォーラム KES 認証事業部 主幹審査員）
- 4) 「グリーン購入～商品選択の具体的なポイント」（第1、2、3回）
高橋 伸年氏（コクヨ近畿販売株式会社ソリューション営業本部営業第2部長 現事業開発部部长/京都GPN 常任幹事）
- 5) 「ウッドマイレージ 京都府産木材認証制度について」
（第1、2、3回） 瀧上 佑樹氏（京都府地球温暖化防止活動推進センター）

■オプションツアー 環境施設（新エネルギー等）の見学

②企業対象グリーン購入セミナーの実施

趣旨：京都府と滋賀県でグリーン入札がはじまり、ますます行政のグリーン購入が進むと同時に、環境への取り組みをすすめ、グリーンな商品づくりを行う企業が評価されるようになってきた。そこで、さらに多くの事業者グリーン購入を進めていただくため、グリーン購入に関するセミナーを開催した。

- 対象：京都府内の事業者及び行政機関内のグリーン購入、または環境マネジメントシステム担当者、グリーン購入に関心のある一般の方。GPN 会員・非会員を問わず参加可能。
- 日時：【第1回】2006年2月6日（月） 【第2回】2006年2月10日（金）
 いずれも 13:00 から 17:00
- 参加費：会員 2000円 非会員 3000円
- 参加者：第1回 24人 / 第2回 26人

【プログラム時間割】

- ・京都GPNの紹介（京都GPN事務局長 堀孝弘）
- ・第1部 グリーン購入の基礎について
- <講師>グリーン購入ネットワーク 事務局 長谷川健一氏

【内容】

- グリーン購入の意義と役割
- グリーン購入の基本的な考え方 -GPN基本原則に沿って
- グリーン購入法について
- 各種環境ラベルについて
- グリーン購入の実践方法
- ・グリーン購入事例紹介
（株式会社びわこ銀行 環境事業部 環境推進室 室長 中山和郎氏）
- ・京都府グリーン入札についての紹介
（京都府 出納管理局 財産管理課 物品契約担当主事 木建信宏氏）
- ・京都グリーン購入ネットワーク参加の意義
（常任幹事 社団法人京都工業会 理事・業務推進役 津村昭夫氏）
- ・第3部 交流会&名刺交換会

③市民対象グリーン購入セミナーの実施

第3回やましな環境フォーラムにて市民を対象にごみ問題の視点から、事務局長の堀孝弘がグリーン購入を紹介した。

と き：2005年11月5日（土）

場 所：アスニー山科（京都市生涯学習総合センター山科）

テーマ：—ごみの減量— 私たちの生活スタイルを見直そう

④ステップアッププログラムの作成事業

グリーン購入仕様書作成支援ソフトの作成

自治体や企業の発注担当者の中が、単に環境ラベルで選ぶだけではなく、情報の背景を理解し、環境に配慮された商品を簡単に発注できるよう、環境配慮事項を盛り込んだ仕様書を簡単に作成できるソフトを開発した。対象商品は、印刷



物（リーフレット、冊子）と印刷情報用紙。

選択項目にはグリーン購入ガイドラインに基づく基礎知識も補っており、発注作業を通じて製品環境情報の理解を広め、自発的・主体的なグリーン購入が普及することを目指した。これによって、発注側の意識を変化させ、地域の製品供給者の環境意識も深め、さらには地域のグリーン市場拡大をはかることをねらいとしている。

グリーン購入仕様書作成支援ソフト説明会の開催

2月にはこのソフトの説明会を実施。実際に使ってもらったうえで感想をきいた。初心者にはわかりやすいといった声から、セキュリティが厳しいのでインターネットにつないでの使用は難しい、自治体によって仕様が違うといった意見があった。今後は、GPNや滋賀GPNと協力したり、ISO14001シリーズの取得者に働きかけるなど、発注者へのグリーン購入の意識づけツールとして可能性はおおいにある。

□日時：2月27日（月） 午後1:30から3:30

□場所：京都商工会議所 3階 第2会議室

□参加者人数：9名

ソフトの普及活動

府内の会員自治体、企業に送付。（約 90 件）また、京都グリーン購入ネットワークのウェブサイトからも見られるようにした。

今後の課題

発注担当者の意識を高め、また効率的な環境配慮型の発注を促進していくために、引き続き改善、普及していくことが重要。実際に会員に使ってもらった感想を参考にしたり、GPNやGPNの地域ネットワークと協力するなどしながら改善、普及に努める。

みなさんからの使ってみた感想をお待ちしています

⑤グリーン商品サンプルセット

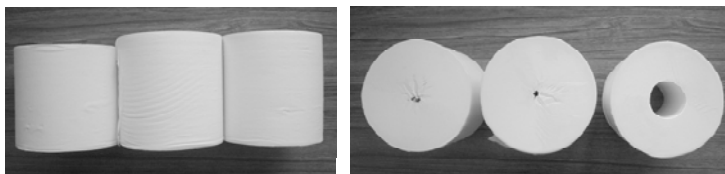
●京都府内の企業が取り扱うグリーン商品商品のサンプルセットを作成。自治体主催の市民向けワークショップやイベント等に活用していく予定。

◇エコロジーな文具用品のサンプルセットを作成。（コクヨ近畿販売提供）

詰め替え用スティック糊や再生プラスチックでできたボード、間伐材を使用したファイルやすべて紙でできたファイルなど51点。



◇トイレットペーパーのサンプルセットを作成。(京都府生協連提供)



実物でみるとすぐ違いや使い勝手もよいことがわかります！

2 3 1 2 3

- 1：古紙 100%/芯なし/グリーン購入ガイドライン推奨幅 105 ミリ
- 2：古紙 100%/芯なし/ JAS 規格幅 114 ミリ
- 3：古紙 100%/芯あり/ JAS 規格幅 114 ミリ

⑥会員グリーン商品/環境への取り組みカタログセット

会員企業のグリーン商品、または環境への取り組みを紹介したチラシを収集し、1冊のカタログとしてまとめた。今後はこのカタログをイベントの際にアピールツールとして使用したり、商品の問合せなどをいただいたときの紹介ツールとして活用したりする予定。

※カタログは随時受け付け中。掲載したいものがある方はぜひ事務局まで送付してください。

【カタログ一覧】

コクヨ近畿販売株式会社/ショウワドウ・イープレス株式会社/ガラス再資源化協議会京都支部/三谷化工業株式会社/佐川急便(株)/(株)上田屋

3-2) 環境ラベル研究部会

①環境ラベルの創設に向けた勉強会の実施

目的/内容：「グリーン商品のデータ収集」の結果をもとに、企業・自治体の商品調達の立場から、求められる商品分野の優先順位を検討・設定する。優先順位の高い分野の商品を対象に、環境配慮商品の指標をつくるための検討をするため、指標づくりの参考となる学習会を実施した。

- 印刷・情報用紙に関する京都ガイドラインの策定に向けた学習会
環境に負荷の少ない紙の購入とは？ 「紙」のグリーン購入を徹底学習

2005年10月、グリーン購入ネットワークが定める紙の購入に関するガイドライン（「印刷・情報用紙」）が改訂を受けた。そこで今後、京都で環境に配慮した紙のグリーン購入をすすめていく際に、改定された基準を理解し、どういった基準ですすめていったらよいかを検討するため、紙のグリーン購入に関する学習会を開催した。

改訂された基準は、今までの「古紙」に続いて「環境に配慮したバージンパルプ」が推奨されている。環境に配慮されたバージンパルプとは適切に森林管理された森からつくられた紙を指し、現在ではその管理を保証する「森林認証」がいくつもある。今回は、その中でも世界規模で使われているFSC認証について学習した。

世界的規模での持続不可能な伐採や違法伐採が続いており、変わらぬバージンパルプへの需要、例えば古紙にまわったとしても、元がバージンパルプであるとする違法伐採にかかわってしまうということから、森林認証の紙が基準として盛り込まれた。ただ、認証にも信頼性や森林保護の効果など課題は多い。また、森林認証製品の供給状況は発展途上にあることもわかった。

今回の学習会をふまえ、今後、京都グリーン購入ネットワークとして薦めるガイドラインの検討を行って行く予定。

□日時：1月23日（月） 午後1:30から3:40

□場所：ハートピア京都 京都府立総合社会福祉会館 第5会議室

□対象：京都府内の事業者及び行政機関内の用紙発注担当者、紙業界関連（製紙・卸・流通・販売）事業者。紙のグリーン購入、森林認証などに関心のある方。GPN 会員・非会員を問わず参加可能。

□定員：50名 □参加者：28人

□参加費：会員/無料 非会員/1000円

□内容

- ・京都グリーン購入ネットワークと学習会の趣旨について紹介（堀孝弘氏）
- ・紙のガイドラインについての解説と今回の改正ポイントの解説
（グリーン購入ネットワーク事務局 弘瀬法男氏）
- ・森林認証 FSC 認証について
（WWF ジャパン 自然保護室 森林担当 那須嘉明氏）

●ホテル旅館のグリーン購入学習会

観光都市京都のホテル・旅館のガイドラインを策定するための学習会

□趣旨：京都独自で環境に取り組むホテル・旅館のガイドラインを策定し、環境に取り組む京都の宿泊施設が応援される仕組みをつくるため、今回は、その元となるグリーン購入ネットワークが策定したホテル・旅館の利用ガイドラインを学習し、今後京都独自でつくるのであればどういった点を改良していくことができるかについて検討した。

現存のガイドラインは、大規模なホテルにとっては取り組みやすいものの、旅館など家族経営でやっている宿泊施設にとっては課題があることや、ホテルでも紙ゴミ電気意外の取り組みとなると内容やモチベーションを見つけ難いといった現状が報告された。その後、京都の特色である旅館や修学旅行対象の宿泊所、ホテルそれぞれの今後の取り組みの可能性と京都グリーン購入ネットワークがどういったバックアップをしていけばよいかなどが

話し合われた。

今後はこの学習会での結果をふまえ、京都の特色にあったガイドラインの活用方法を検討していく。

日時：2月13日（月） 午後1:30から3:20

場所：ハートピア京都 京都府立総合社会福祉会館 第5会議室

対象：京都府内のホテル旅館関係者、また、事業者および行政機関内の宿泊先関連の担当者。宿泊サービスのグリーン購入に関心のある方。GPN 会員・非会員を問わず参加可能。

定員：50名 参加者：6人

参加費：会員/無料 非会員/1000円

内容：

- ・京都グリーン購入ネットワークと学習会の趣旨について紹介
- ・ホテルのガイドラインについての解説（GPN事務局 深津学治氏）
- ・旅館ホテルの立場から「京都のガイドラインづくり」へのアドバイス（高田光治氏（京都市宇多野ユースホステル 所長））
- ・京都のガイドラインづくりに向けて 車座会議（ポイント）
 - ・京都のガイドラインをつくるならこういうところを工夫してはどうか
 - ・京都の旅館の良さをアピールできるガイドラインとは（ゲスト）
 - ・高田光治氏（京都市宇多野ユースホステル 所長）
 - ・旅館こうろ
 - ・GPN 深津学治氏（コーディネーター） 下村委津子

②京都の（会員）事業者の環境への取組み、グリーン商品のデータ収集

目的/内容：京都府内の企業の環境の取組みとして、どのようなものがあり、どのようなグリーン商品を扱っているのかを知ることにより、環境ラベルの指標づくりの基礎資料を得る。また、京都GPNに対する要望を把握し、その後の活動にいかすために京都の（会員）事業者を対象に環境への取組み、グリーン商品の取り扱い状況などについて調査するアンケートを実施した。

調査内容：グリーン購入をはじめとした環境の取組み、取扱いグリーン商品、京都GPNへの要望など

収集したデータについて：ホームページで公開する

主な質問内容

調達担当者：グリーン商品の要望、グリーン調達方針策定状況、運用状況

営業者用：グリーン購入普及にあたって必要なもの

実施スケジュール

アンケート内容の検討 8月

アンケートの送付 9月

アンケート結果の集約 10月

□回答数

営業担当者：29（40%）（送付枚数 約72件）

調達担当者：36（51%）（送付件数 約60件）

□結果概略

グリーン商品の購入を実施しているところは回答のあったうち半数（26件）。中には品質や価格などを理由に実施していないところもあった。また、グリーン購入を実践しているといっても実際には担当者にまかされているところが約半数にのぼった。グリーン購入をすすめていくためには、商品の詳しい情報や、グリーン購入を高めるための情報が求められている。特にもとめている商品情報、用紙、OA・PA商品、OA機器があげられている。

□今後の活用方法

結果は、グリーン購入発注書作成支援ソフトの作成にあたって、どの商品を対象に作成するか（印刷情報用紙、オフセット印刷を選択）に活用された。今後も各種セミナーやイベントを実施する際の判断基準として活用していく。また、ウェブサイトでの公開が遅れているため、2006年度に早急に行うことがとめられる。

3-3) 広報コミュニケーション部会

イベントの情報発信、エコ発注ソフトのリンクでさらに広報力UP

①京都グリーン購入ネットワークウェブサイトの更新

内容：京都グリーン購入ネットワークの各種イベント広報や、京都府のグリーン入札開始などグリーン購入にかかわる様々な情報を発信。京都 GPN ニュースもダウンロードできるように発行の度に更新を行った。また、普及部会で制作したグリーン購入仕様書作成支援ソフトもこのウェブサイトで公開している。

URL <http://www.k-gpn.org/>

グリーン購入を広げていくための地元密着情報を積極的に発信

②京都 GPN ニュース vol.2.~vol.5 の発行



内容：2005年度の京都 GPN の方向性、グリーン入札の解説、滋賀 GPN に学ぶグリーン市場拡大への努力、グリーン入札開始のお知らせなどを特集。また各回で会員さん1団体/企業ずつ紹介した。他にも、環境にかかわる用語や環境ラベルについて解説、グリーン購入に役立つ情報を提供した。今後はさらに会員がもっと表にでるような内容を検討、実施していく。

③会員、商品、検索システム（ホームページ）の作成

□目的/内容：会員のメリットの一つとして、会員事業者の扱っているグリーン商品/サービス、および会社紹介を京都グリーン購入ネットワークのウェブサイト上で行う。紹介サイトには、検索機能もつけ、見る人のニーズにスピーディーにこたえる内容にする。これにより、グリーン購入への理解や実際の購買が進むことを期待する。（対象は会員のみ）

3-4) 全体で取り組んだ事業

売り手と買い手をつなぐ交流会の開催

【目的】

- ① グリーン購入について知ってもらう
- ② 京都の企業がグリーン購入にいかに関心やグリーン購入に取り組んでいるかをアピールする
- ③ 参加者にグリーン市場拡大のために何ができるかを知って（考えて）もらう

【概要】

環境への関心が高まり、環境配慮商品（サービス）が増えてきたものの、グリーン購入について、提供する側、購入する側、両者の認知度は未だ充分とはいきれない。また、グリーン商品やサービスが存在しても、それらを求める買い手と売り手が結びついていないケースも多い。そこで今回は、多くの人にグリーン購入について知ってもらい、グリーン商品、サービスを取り扱う「売り手」とそれらを求める「買い手」が出会い、互いのニーズを知り、コミュニケーションを図るための場を設けた。具体的には 12 のブースを出店し、グリーン商品、サービスの展示や即売会を実施。クイズラリーなども行った。

当日は、多くの参加者が訪れ、京都府下のグリーン購入に取り組む企業をアピールすることができた。また、12 もの会員企業がブース出店をし、会員同士が協力してイベントを実施する場となり、会員同士の交流が深まった。

参加者層や、企画内容、運営体制など改善の余地があるが、グリーン購入を広めていくためのきっかけとして貴重な経験となった。

■日時、場所、来場者数

日時：12月10日（土）、11日（日） 10:00 から 16:00

場所：京都府総合見本市会館（パルスプラザ） 2階

来場者数：約 1000 人

【内容】

■展示・即売の内容、出展企業プロフィール

出展ブース数：12 出展企業、団体数：14

【出展企業/団体一覧】 1) はプロフィール、2) は展示即売内容

1. 株式会社上田屋、八木株式会社、コクヨ近畿販売株式会社：グリーン購入の必要性のPRと環境に配慮された文具、事務用品の展示・販売

2. エコ雑貨クラブ：オーガニック綿の商品ややみつろうキャンドル、粘土の化粧品などを販売
3. 特定非営利活動法人 NPO 環境フォーラム：布おむつや有田みかん、南高梅の販売
4. ガラス再資源化協議会 京都支部：ガラス再利用による、タイル、ブロック製品の展示
5. 株式会社川島織物：環境に配慮したインテリアファブリックスの紹介、販売。
6. 環境技研株式会社：環境に配慮された証明設備などを紹介
7. NPO 法人環境市民：環境やグリーンコンシューマー活動について紹介
8. コープ.イン.京都：省エネ、エコホテルの取り組みを紹介
9. (有) 糺書房、(株) 松田洋紙店：環境に配慮された印刷や素材について紹介、展示
10. 日本紙工株式会社：環境に配慮された印刷や素材について紹介、展示
11. 光工業株式会社：自然にやさしい道路の補修材を展示
12. 京都グリーン購入ネットワーク：グリーン購入を知っていただくためのパネル展示など

■クイズラリーの実施

来場者にできるかぎりブースを全てまわっていただき、また、グリーン購入やグリーン商品について学んでいただくためクイズラリーを実施。全12ブースに、ブースをみると簡単にわかるようなクイズをもうけ、すべてのクイズに答えると抽選で何らかのグリーン商品があたるという仕組みで実施をした。

■グリーン商品サンプルの展示、即売

各ブースでそれぞれグリーン商品の展示、即売を実施。参加者にグリーン商品やサービスの多様性に気づいてもらえる機会となった。

■ワークショップの実施

株式会社上田屋、八木株式会社、コクヨ近畿販売株式会社さんのブースにて『紙の旅』と題した小学生を対象としたワークショップを数回実施した。『紙の旅』は高さ1m強のノート型の大きな絵本で、紙が森から生まれ、使われてリサイクルされるまでの様子を描いたもの。子どもたちに毎日の勉強に使うノートが自然から生まれ、またリサイクルすれば使える、ということを知ってもらう機会になった。



4. 会員の推移

2004年度に比べて22団体の増加となった。しかし、2007度に会員数を500にするという目標から考える今後、戦略をたてて会員拡大を確実に実行していく必要がある。

日付	3月	6月	9月	12月	3月
企業	59	62	69	73	79
行政	8	8	9	9	8
民間団体	16	16	18	18	18
個人	7	7	8	9	8
退会	2	0	0	0	1
合計	90	93	104	109	113